

かぼちゃのおばけ



作 おかっぴ



あるひのこと

とおいくにから かぼちゃの おぼけが やってきました。

にほんの こどもたちを こわがらせてやるためです。

あかりのついている いえを みつけたので

かぼちゃのおばけは どあを たたきました。



どあがあくと かぼちゃのおばけは

「おかしを くれないと いたずらしちゃうぞー」

と さげびました。



「知らないひとから ものを もらっちゃ だめなんだよ」

おとこのこは どあを しめてしまいました。

「もらうのは おまえじゃない！ わたしだぞ！」

なにをいっても おとこのこは しらんかお。



ちっとも こわがってくれないので

かぼちゃのおばけは こまってしまいました。

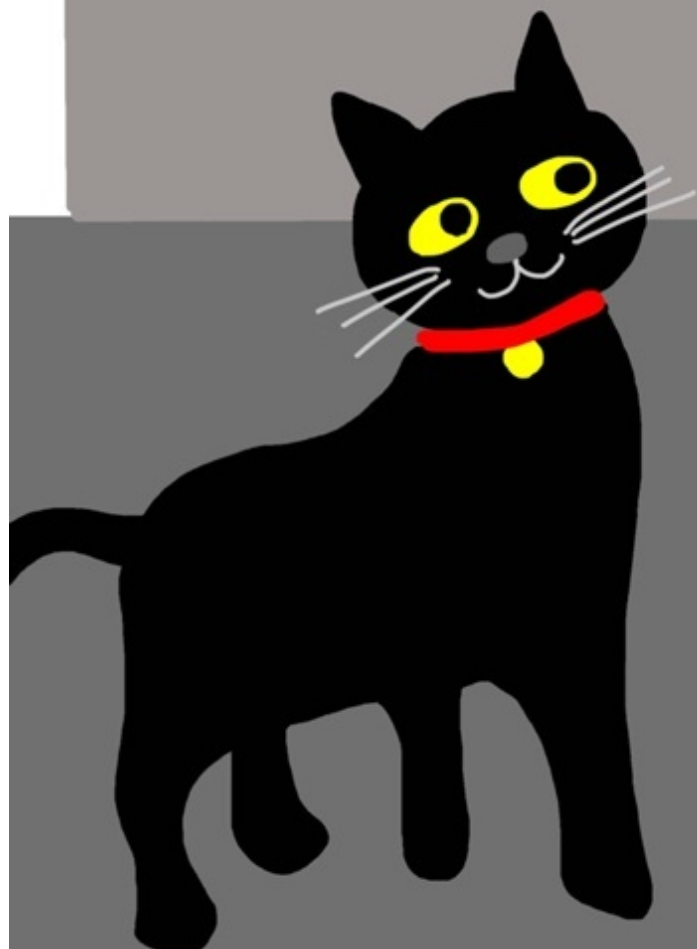
すると ねこが やってきました。

「たすけてあげようか」

「おまえは さっきのいえの ねこだな。

なぜ わたしを たすけるのだ」

「だって おもしろそうだもん」



「にほんの おばけは かさをかぶったり しろいきものを
きてるの。おどかしたいなら まねすれば？」

というと ねこは かえっていきました。

「なるほど。

かさと しろいふくか」



そのころ おとこのこが ひとりで ほんを
よんでいると また どあを たたく おとが
します。

おかあさんが かえってきたのかなとおもって
おとこのこは どあを あけました。



「おかしを くないと…」

「なに そのかっこう！ へんなのー」



おとこのこは

かぼちゃのおばけをみて

おおわらい。





かぼちゃのおぼけは わらわれて きぶんが わるくなりました。

おこって かえろうとしたところに おとこのこの おかあさんが
かえってきました。

「あら おいしそうな かぼちゃ」

いたたたたー！



「あたまを ひっぱるなー！」



「こんな 怖いところ にどとくるか！」

かぼちゃのおばけは とおいくにへ かえっていきました。



かぼちゃのおばけ

<http://p.booklog.jp/book/57562>

著者：おかっぴ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/mintgreen6/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/57562>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/57562>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ